

発行日/2019年12月20日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info



46

# みみよい

「ごあいさつ」

阿部 智美

年号が変わって令和元年となり、来年はオリンピックの年になります。残念ながらデフリンピックは時期がずれませんが、いつかはオリンピック・パラリンピックに並んでデフリンピックも同時期に開催する時が来ますように。

さて先日、障害者週間フェスティバルのメインイベントをセンターで担当させていただきました。いつも木曜日の12時半から15分間実施しているミニ手話教室「手話っぴい」に来てくださっている方もご参加くださいました。1週間に1回、たった15分のミニ手話教室のために長く続けて来てくださる方がいます。今年度からは聞こえない職員2人だけでやっています。手話っぴいを楽しんでくださるみなさんのおかげで、私も「手話を伝えていけることはいな」と、初めて実感するようになりまし



た。今回のフェスティバルで久しぶりにお会いした方も、覚えている手話を使ってお話してくださいました。今回のフェスティバルでも、たくさんの方にお力添えをいただきました。その報告も3面です。ぜひ読んでくださいますのでどうぞお楽しみください。そして今年も大変お世話になり

ました。来年もセンターともども、どうぞよろしくお願いいたします。

※私事になりますが、冬に出産を控えており、当面お休みをいただくこととなります。復帰したときは改めてご挨拶させていただきます。またみなさまにお会いできることを心待ちにしております。

## 保護者学習会を開催しました

10月26日(土)、全国早期支援研究協議



会会長の南村洋子先生をお招きし、「心の発達とコミュニケーション」をテーマに講演していただきました。長く早

期教育の現場で指導をされてきただけでなく、ご自身も聞こえない子どもを育ててこられた南村先生。今回は、ご経験も交えて話してくださいました。

人工内耳や補聴器装用で「聴力が出る」子どももいますが、先生はそのような子どもも含めて「目の人」と表現しておられます。人工内耳でも平均聴力は40デシベル。すべて聞こえるわけではありません。聞き取るために一生懸命で、たくさんしんどさを抱えています。先生の娘さんも「お茶の間の孤独」を訴えたことがあるそうです。周囲の大人が目線を合わせ、その子の気持ちや、しようとしていることを想像する、「子どもに話す」のではな

## もじサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながらおしゃべりを楽しむ交流の場です。お気軽にご参加ください。

- 11月2日 参加者3名 テーマ「堺の有名人」
- 12月14日 参加者5名 テーマ「今年の漢字」



次は

1月9日(木) 午後2時~4時

2月1日(土) 午前10時~12時

どちらも2階研修室にて事前申込は不要です。毎月開催しています。お気軽にご参加ください。

(担当：芦田)



く「子どもに話す」ことが大切」というお話が心に残りました。コミュニケーションは、生きていくために不可欠なこと。そして、コミュニケーションとは双方向であるべきもの。聞こえない子どもたちがその機会を得るには、その子に合わせた視覚情報が欠かせません。保護者や支援者がそのことをしっかり理解しておくことが大切ですね。今回は交流会の予定です。お楽しみに。

## みみサロンを開催しました

11月21日は、さかい聴覚障害者防災ネットワーク（以下ネットワーク）との合同企画で「聴覚障害者の防災」をテーマに開催しました。ネットワークは、2015年から聴覚障害関係団体10団体で結成され、視覚・聴覚障害者センターも構成団体に入っています。聴覚障害者向けの防災マニュアル作成や学習会、聴覚障害者に合った防災グッズを開発したりと、幅広く活動している団体です。

最近、災害が多く発生し、「聞こえない自分も被害地で力になりたい」という声のもと、広



島県ろうあ連盟でボランティアセンターを作りました。ボランティアセンターを立ち上げるまでの過程や、立ち上げたあとの活動内容など、

広島県ろうあ連盟の横村さんより講演いただきました。広島県では平地が少ないことと土の質（真砂土）から、土砂崩れや土石流が起こりやすい地域がかなり多く、豪雨や台風のあとの交通麻痺や情報が混乱するなどの二次被害も大きくあります。そんな中、ボランティアセンターでは聴覚障害者団体の会員・非会員に関わらず、聴覚障害者が手話のできる人同伴でボランティア活動ができるように調整を進めました。耳の障害以外は聞こえる人と変わりないので、情報が獲得できるようにコミュニケーションの保障をしたり、周りから理解してもらえらるるよう「聞こえません」とい



うバンダナやシールをつける工夫をしたことも話してくださいました。

後半は、横村さんの講演を踏まえて聞こえなくても自分を守る「自助」についてグループに分かれて話し合いをしました。「日頃から地域の人と交流できるようにしている」、「災害にそなえて準備をしなければという気持ちはあるがなかなか出来ていない」、「避難所へのルートは3つぐらい把握できるようにしている」等々、多くの意見が出されました。



最後に講師の横村さんより、聞こえない人も困っていることを相手にうまく伝える「受援力」が必要であり、また、聞こえなくても助けを求めらるるばかりではなく自ら動いていくことも大事、というまとめをいただきました。聞こえない人も話す内容を紙に書いたり、相手に合わせたコミュニケーションをとれるようになりますね。当日は56名の参加があり、盛大に終わることができました。講師の横村さん、参加して下さったみなさま、ありがとうございました。

## 聞こえのセミナー…難聴者の体験談

11月28日（木）、原田博昭さんをお招きし、ご自身の中途失聴の体験を話していただきました。



事故で聞こえにくくなったこと、聞こえにくくなってから出会った人たち、手話を学んでいることや触手話に出会ったことなど、人生を偶然的な巡り合わせとして話してくださいました。手話に出会って楽しく過ごしている姿と、陽気に歌う姿を見て、聞こえにくくなって消極的になってしまった方々も、力をもらえたようです。

後半はいろいろなコミュニケーションの方法（筆談・読話・手話など）体験してみました。家族が、または自分が聞こえにくいときにどのようなコミュニケーションを取ればいいのかというヒントにしたいかったです。

話の内容がわかれば会話ができる。そのためいろいろな工夫を送りたいと思った一日でした。

聞こえのセミナーは年4回開催しています。詳細は、「広報堺」・センターホームページまたは配架のチラシでご案内しますのでご確認ください。







毎年、12月3日から9日は障害者週間。堺市立健康福祉プラザでは、障害者週間フェスティバルを開催しています。今年のメインテーマは「見る・聞く・感じるコミュニケーション」。コミュニケーション機器の体験・展示会とステージプログラムを実施しました。

オープニングを飾ってくださったのは、大阪府立堺聴覚支援学校中学部音楽部による和太鼓。勇壮な音と響きに参加者全員で感じました。

午後からのステージイベントは、「さくらまあむ」さんの人形劇からスタート。ともだちほしいなおおかみくん」を披露していただきました。小さいお子様にも楽しんでいただける内容だったので、子どもさんの参加が少なくして少し残念でした。

続いて、手話体験。自己紹介や挨拶の手話を聞かない(ろう)講師が指導。会場の方々のお名前の手話表現を教えてくださいました。

そして、「くるくる」による手話での絵本の読み聞かせです。紙芝居「なんにもせんにん」、絵本「いつもいっしょに」



# コミュニケーション

聴覚関係機器のご紹介は写真で

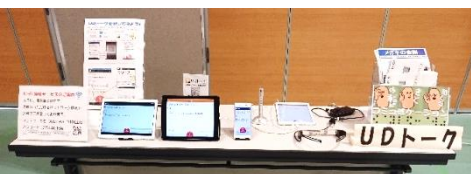
を豊かな手話で語ってくださいました。「おとえほん」では、会場の方々と一緒にリズム遊びで盛り上がりました。

最後は、大阪府立大学手話サークル亜飛夢さんによる手話コーラスです。嵐の曲に合わせて、会場の方々も一緒に手話コーラスを楽しみました。

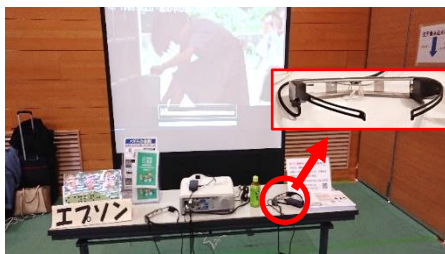
機器展には、視覚・聴覚合わせて10社のご協力をいただきました。福祉機器だけでなく、会話や情報取得をサポートする最新の機器を体験していただきました。ご協力くださった企業のみなさま、「触手話体験」をご担当くださった堺盲ろう者の会と支援グループのみなさま、ありがとうございました。



マイクを使っている話し手の声だけを補聴器に届ける「ヒアリンググループ」



話した音声を文字に変換するUDトーク。今回はスマートグラスにもつないで体験。



メガネのレンズに字幕が映る「スマートグラス」。



センター窓口でも大活躍の手軽な筆談用ボード。



電話の相手の音声を文字に変換してくれるスマートフォン用アプリ



耳元で話してもらっているようにはっきり伝わる会話器。



振動式の目覚まし時計や来客を知らせるランプなど、日常生活に活用できる機器

## 手話奉仕員・通訳者養成講座

### 楽しく学べる「市民向け講座」

今年も年末が近づいてまいりました。寒い中を講座に出席いただいている方々には体調を崩さないようお願いします。また、手話通訳者養成コース入門課程ではようやく残り半分を切りました。引き続き楽しみながら学んでいただきたいと思います。

## 要約筆記者養成講座

### チームワークで乗り切って！

講座もあと2講義。雨の日も風の日も寒い日も来られたみなさん、あと一息です。2月に全国統一試験がありますが、合格目指して一緒にがんばりましょう。

### センターの行事

1月10日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

1月18日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※要事前申込みで聴くテレビ制作の裏話

2月22日(土) 14:00~16:00

「聞こえのセミナー」※要事前申込み 難聴と耳鳴りのお話

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」

1月25日、「難聴者のためのコミュニケーション教室」を開催します。

1月4日受付開始。定員10名です。

受講資格等の詳細は、「広報堺」・センターホームページまたは配架のチラシでご確認ください。

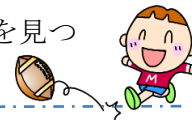
## ビデオライブラリーのおすすめ

### 「ろうを生きる難聴を生きる

#### 聞こえない自分だからこそできるラグビー教室

聴覚障害者のラグビー、デフラグビー日本代表チームのエース大塚貴之さんが取り組んでいるのは、ラグビーを通して、聞こえない子どもたちに、聞こえないからこそできることがあることを伝えることです。

夢に向かって歩き始めた大塚さんの姿を見つめます。



### 「ろうを生きる難聴を生きる

#### 映画を通してろうの世界を伝えたい

ろう者が描かれた映画やドキュメンタリー作品を上映する東京ろう映画祭。この映画祭を立ち上げたのは、ろう者の牧原依里(まきはらえり)さんです。

映画を通して、ろう者の文化を伝えたいと願う牧原さんの、映画祭開催までの日々を追います。

## 頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

### 実施済

手話通訳者実技研修(B~D) 11/1「聞き取り通訳」

要約筆記者研修 12/3 午前「要約技術」

要約筆記者実技研修(手書き) 12/3 午後「全体投影」

手話通訳者実技研修(Aランク) 8/20~11/26 全12回

登録者合同研修 1/14「より良い情報保障のために」

手話通訳者研修 2/15「事例検討」

※ 令和2年度登録者説明会 3月28日 午後・夜

詳細は後日お知らせします。ご予約ください。



### 年末年始休館のご案内

12月29日(日)~1月3日(金)は休館です。

本年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしく願いいたします。

よいお年をお迎えください。



## 事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
10月	派遣数	216件	31件	17件	12件	28人	71本
	派遣人数	225人	63人	32人	48人	新規登録者：1人	
11月	派遣数	233件	30件	18件	21件	17人	48本
	派遣人数	246人	72人	32人	64人	新規登録者：0人	

ご協力  
ありがとう  
ございました

